

また、学芸員課程履修者には次表の研修旅行を実施した。

日程	研修地	参加人数	引率者
8・7～9	1日目 石川県 金沢21世紀美術館、兼六園、 金沢城公園 2日目 岐阜県 五箇山、白川郷、高山陣屋 3日目 愛知県 名古屋博物館、名古屋城	33名	武田昭子 安蔵裕子 野口朋隆 若狭杏子

(5)平成二十八年年度 特殊研究講座

本学では、学問の系統ごとに、学外の著名な講師を招いて講演していただく「特殊研究講座」を開催している。

平成二十八年年度の特殊研究講座は次の通りである。

高橋龍三郎氏（早稲田大学文学術院教授）

「パプアニューギニアの民族誌調査と縄文文化研究」

6月29日（水）

奥平龍二氏（東京外国語大学名誉教授）

「ミャンマー国家論 ―上座仏教国家から現代連邦国家へ―」

11月9日（水）

光葉博物館だより

〈平成二十七年年度展覧会〉

○「授業資料展2015 ―宮廷装束を中心として―」

4月2日～4月22日

○春の特別展「洋画の愉しみ

―日本独自の洋画を模索した作家たち―

5月33日～6月21日

○収蔵資料展「日本の郷土玩具 ―木・土―」

7月21日～7月31日、8月22、23日

○秋の特別展「くらしを支えてきた漆」

11月7日～12月12日

○「新春収蔵資料展

平成28年1月12日～2月9日

○「卒業制作展2015」

平成28年2月26日～3月16日

〈平成二十八年年度展覧会〉

○「授業資料展2016 ―宮廷装束を中心として―」

4月2日～5月13日

○春の特別展「東日本大震災の復興支援活動

―昭和女子大学による取り組み―

6月6日～7月2日

○収蔵資料展「世界の仮面」

7月24日～7月29日

○秋の特別展「相模人形芝居の世界」

10月22日～11月26日

○「新春収蔵資料展」

平成29年1月10日～2月7日

○「卒業制作展2016」

平成29年2月24日～3月16日

※休館日は「展覧会」ことによる。通常は日・祝・長期休暇など大学が定める休日。

<http://museum.swu.ac.jp/>

(学芸員 有路素子記)

文化史学会だより

〈文化史学会第三十三回大会報告〉

平成二十八年十二月三日(土) 午後一時三十分より、昭和女子大学80年館西棟六階コスモスホールにおいて、当学会の第三十三回大会が開催された。

プログラムは次の通りであった。

大会講演

山本暉久 (昭和女子大学教授)

「柄鏡形(敷石) 住居址研究の80年」

関口静雄 (昭和女子大学教授)

「了翁禪師のこと」

調査報告

長谷河優花・柳本真央 (昭和女子大学学生)

小泉玲子・山本暉久 (昭和女子大学教授)

「山梨県北杜市諏訪原遺跡」

2016年夏季発掘調査報告」

研究発表

五関美里 (昭和女子大学院生)

「近世以降のアイヌ文様に関する研究

—衣服を中心に—」

懇親会

研究館五階ロビーにて